

まほろん

通信

Shirakawa since 2007



企画展紹介

ふくしま歴史探訪展

「古代ふくしまの開発」

—矢吹が原を中心に—

「まほろんぬりえコンクール」受賞者発表

まほろん森の塾 活動報告

まほろんおしごと紹介 Part3 まほろんアテンダント

まほろんでは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組んでいます。特に体験活動については、職員との接触や近距離での活動を控えております。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



企画展紹介

ふくしま歴史探訪展

古代ふくしまの開発

— 矢吹が原を中心に —

開催中 ～ 3月21日 (火)

文：専門学芸員 菅原 祥夫



「土師器甕」
小又遺跡 (矢吹町)



「文字が書かれた土師器坏」
下宮崎 A 遺跡 (矢吹町)

8世紀の律令国家は、公地公民の前提を転換し、次第に土地の私有を認めるようになりました。その結果、全国各地でいっせいに新たな開発が始まります。東北地方では、古墳時代から政権側と安定した関係を結び、城柵支配が行われなかった陸奥南部、つまり、現在の福島県にほぼ相当する範囲に明確な影響が現れました。

本展示では、白河地方北部に広がる矢吹が原の発掘調査成果を中心に、この律令国家転換期の様相を庶民が暮らす村の変化の様子から浮き彫りにするとともに、県内の関連資料を紹介し、理解を深めていただくのがねらいです。

先人の知恵と努力に触れつつ、古代ふくしまの地域開発の歴史的意義を感じ取っていただければ幸いです。

Information

関連講演会

「製鉄をめぐる古代ふくしまと近江の諸関係」

開催日時：令和5年3月11日(土) 10:40～15:30

講師：吉野 武 (宮城県教育庁文化財課)

大橋 信弥 (元滋賀県立安土城考古博物館次長)

菅原 祥夫 (当館職員)

会場：白河文化交流館コミネス 小ホール

白河市会津町1-17

定員：280名 (事前申込制・先着順)、入場無料

◎往復はがき・返信可能なFAXにて

「まほろん3/11講演会係」までお申し込みください

※参加者全員の住所・氏名・電話番号をご記入下さい

※3月4日(土) 必着

まほろんぬりえ コンクール 受賞者発表

令和4年11月1日～11月30日にかけて「まほろんぬりえコンクール」の応募作品を展示して、来館者のみなさまにお気に入りの作品に投票していただきました。

年令別の部門ごとに、得票数が最も多かった作品を【最優秀賞】、2番目に多かった作品を【優秀賞】としました。その中で【最優秀賞】を受賞された方の作品をご紹介します。

Kids



キッズ部門 (未就学児)
江戸 晶哉 さん 作

Junior



ジュニア部門 (小学生)
鈴木 咲絢 さん 作

Junior
Highschool



ジュニアハイスクール部門 (中学生)
田村 円悠 さん 作

Adult



大人部門 (高校生以上)
石井 弘美 さん 作

まほろん森の塾 活動報告

今年で第22期となる「まほろん森の塾」の活動報告をします。

文：学芸員 和知 千紘



↑奈良屋呉服店前にて
←石阿弥陀の一里塚にて

まほろん森の塾は、昔の暮らしや技術を実体験することで、歴史をわかりやすく、親しみやすく学ぶことを目的とした体験学習です。毎年、小学4年生から中学生までを対象に塾生を募集しています。今年度は8名の塾生を迎えました。

年度ごとのテーマに沿った活動を行っており、今回は近世の奥州街道をとりあげ、街道沿いの文化財をテーマにした活動を5回にわたって行いました。

街道についての事前学習のあと、第3回ではまほろん周辺に残る文化財を見学しました。石阿弥陀の一里塚で一里塚同士の距離を測ったり、地名「石阿弥陀」の由来となる板碑や（伝）金売吉次の墓周辺で吉次の伝説に因む地名を探したりするなど、地名に着目しながら文化財を見学する体験を行いました。

第4回では、白河市に残る旧奥州街道を歩きながら街道沿いの文化財を見学しました。藤田記念博物館の付近に残る奥州街道と原方街道の道標からスタートし、街道沿いに残る歴史的建造物や町の境に残る鉤型の道、小峰城の土塁跡等を見学しながら

小峰城に向かいました。小峰城ではボランティアガイドの佐藤善昭さんの説明を聞きながら石垣や三重櫓について学びました。

第5回では、これまでの活動を踏まえ、文化財マップを作成しました。塾生は見学の際に撮った写真を見ながら活動について思い出し、学んだことを書いた紙や選んだ写真を地図に貼って文化財マップを作りました。

塾生はまほろん周辺の文化財を見学したり、実際に街道を歩いて城下町特有の町の様子を発見したりと楽しみながら街道沿いの文化財について学ぶことができました。見学した文化財は現在でも地元の人たちによって大切に守られていることも知ることができました。

「車じゃわからないことに気づくことができた」「昔の人はどうやったらこんな長く道を歩けたのかな」と電車や車がなかった時代を想像しながら活動する場面もありました。



小峰城にて↑
まほろん縄文の家にて→



表紙の1枚

昨年11月、2年振りに開催したまほろん感謝デーでの「もみぎり火おこしチャレンジ」の1コマです。成功者はわずか2人。諦めずに何度も挑戦する親子の姿が何組も見られました。

編集後記

まほろん通信の編集担当になり早1年。今年度は館長交代、おしごと紹介シリーズとまほろんの「内側」に焦点をあてました。いつもと違った視点でまほろんが見えるかもしれません。

取材先：まほろんアテンダント
質問者：ロンくん



まほろん博士

「まほろん」ではたらく人々がどんなお仕事を
しているか、実際にきいてみようという
シリーズじゃ。

まほろんが大好きな小学6年生のロンくん
が質問するぞ。今回は体験活動室のアテン
ダントに話をきいてみたぞ。



ロンくん (小6)
白河市に住む、
まほろんと歴史が
大好き。

まほろん「体験活動室」とは？

まほろんのいっぴきでもできる体験スペースじゃ。個人の来館者向けに月替わりメニューと「火おこし」「勾玉づくり」も用意しておる。

Q1 どんなお仕事をしていますか？

「まほろんデザイン部」
部長

主に、まほろん来館者の皆さんが体験活動室
メニューを体験する際の補助の仕事をしていま
す。また、館内を団体でご利用される場合の
案内役をする事もあります。その他、ざっく
りとした表現ですが、まほろんに関する仕事の
色々なお手伝いもしています。

ポスターチラシの発送
展示物の制作
体験室メニューの考案
などなど…



体験活動室でお待ちしています！

メニュー準備
作業風景



Q2 このお仕事で大変なところ、 楽しいところはありますか？

「まほろんの匠」の弟子

メニューの考案が大変です。作って楽
しいだけではなく基本的には考古学や
古代の技術に関わらせて考えています。
これがなかなか難しいです。楽しいこと
はみんなで協力して大きな物を作り上
げた時です。分担したものを合わせ完
成した時の喜びはひとしおです。

Q4 今まで作った展示用のもので、 特に苦労したものはなんですか？

「まほろんの匠」

夏の企画展で作成した縄文の家ジオラマの
茅葺きが大変でした。こんな感じかなと作っ
てみたものの「何か違うよね…」と納得い
かず茅葺き職人の動画を夜な夜な見る日々
が続きました。
改めて職人さんの凄さを
実感しました。



それは良かったのう。
次は文化財のおいしやさん、
保存科学部門のおしごとを
紹介するぞい。



アテンダントさん、色々なお仕事をされているんですね！
そうそう！この間体験活動室スタンプカードがたまって、
好きなメニューを無料で体験したんです！
新しいメニューも楽しみ！

文化財のおいしやさん？どんなお仕事なんだろう？



Q3 体験活動室メニューは どうやって決めていますか？

「タルライザー大好き！」
ペテランさん

体験チームの企画会議で1年間のメ
ニューを決定します。商品になるまで
何度も試作打合せします。これが大
変なんです…。過去5年間で特に
人気があったのは、「剣形アクセサ
リ」でした。毎年恒例
の「うちわづくり」「お
正月飾り」も人気です。



Q5 まほろんで働いてみて、 こんなことをするんだ？と 驚いたり、初めて体験したこと はありますか？

「今年仲間入り」
新人さん

まほろんで働いて一番驚いたのは、先
輩方が何でも手作りしてしまうこと
です！！箱や袋からはじまり、ガチャポン
やしめ縄、小皿まで本
当に何でも手作りして
しまうので、これも作れ
るのかあと驚きの毎日
を送っております。



まほろんの今後の主な予定

※各講座・講演会は事前申込制です。

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により予定が変更となる場合があります。

詳しくはお問い合わせ頂るか、まほろんのホームページをご覧ください。

～3/21 (火)

企画展

「古代ふくしまの開発一矢吹が原を中心に」

1/28 (土)・29 (日)・31日 (火)・2/1 (水)

実技講座「土師器づくり」【製作】

3/11 (土) 企画展 関連講演会

「製鉄をめぐる古代ふくしまと近江の諸関係」

※詳しくは2ページをご覧ください

3/12 (日) 実技講座「土師器づくり」【野焼き】

まほろん
通信
vol. 86

令和5年1月25日発行

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日 (祝日・休日の場合を除く)、
2/24・3/22、年末年始 (12/28～1/4)
入館料 無料 (体験学習によっては、材料費が
必要な場合があります。)

お問い合わせ



〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

☎ 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ

まほろん 検索



随時更新中!

まほろん公式SNS

フォロー&チャンネル登録
お待ちしております!

INSTA YOU
GRAM TUBE

